

松田小学校等整備事業に対する討論

反対討論

小澤 啓司 議員

これより反対の立場から討論をさせていただきますけれども、これから申し上げる数字につきましては、一番最初の資料に基づいて行っておりますので、ご了承をお願いしたいと思います。

一般会計補正予算(第6号)、債務負担行為補正、松田小学校整備事業予算に反対の立場から討論を行います。この整備事業費は28億9,600万円とされ、松田町平成29年度歳出決算額42億8,000万円に比べて巨額な金額であり、事業遂行のために24億円の町債発行が予定をされています。返済期間は20年から25年を要し、元利返済額は毎年約5億円、小学校建設後の一般町債発行額は2億5,000万円に設定をされています。松田町におきまして過去10年間の平均元利返済額は3億3,000万円であり、町債発行額は3億4,000万円となっています。学校建設後には元利返済額が毎年1億7,000万円増額され、町債発行額が今までに比べて9,000万円の減少が予定されています。この1億7,000万円の費用増額と9,000万円の歳入減少、合

わせて2億6,000万円は本来投資的な事業に使われる、言いかえるならば町民福祉の向上に使われるべき財源です。この財源削減が今後20年間以上も続くということは、人口減少、高齢化の進行とあわせて、町財政はもとより町民生活や将来設計に大きな影響が懸念をされます。

小学校の建て替え計画には賛成ですが、現在375名いる児童数の減少傾向は避けて通ることはできず、財政の影響を考慮して、当初事業規模の見直しやほかの事業優先順位の明確化を図るとともに、町民への丁寧な説明が求められています。また、財源確保の手段として、先ほども話が出ましたけれども、クラウドファンディング型のふるさと納税制度、これを活用した中で、この事業に対する理解と賛同を求めるよう、広くホームページ等でPRすることをお願いをいたします。

いずれにいたしましても、当初計画予算には財政への影響が大きすぎるため、賛成することはできません。再考を求めます。

賛成討論

平野 由里子 議員

賛成の立場で討論をさせていただきます。松田小学校建て替えに関してですけれども、先輩議員の方々から聞いたお話によりますと、要するにこの新人4人以外は皆さん御存じだと思うんですが、平成23年3月ですか、基金を積み始めるときに、5年後を目標にということで議会も了承したというふうに伺っております。つまり建て替えなければいけないということはわかっていたと。そしてもう、既にその5年後が過ぎてしまいますので、今回のこの時期に建て替えということになります。災害が多発したり、それから温暖化によって気候変動が非常に激しいこういう時期に、今の実際の松田小学校の校舎を見てみると、なかなかこれは安全だと言い切れない。とてももたないのではないかなというようなこともわかってきております。ですから、今回町側の提案で私たちも慎重に審査をさせていただきました。

確かに28億9,600万円という事業総額は、町の財政が厳しい中では大変大きな金額だと思います。そして、私たちもその特別委員会を組ませていただいて、財源なども委員会で審査をさせていただいたところでございます。単なる学校の建て替えに関しては、今は補助金が出ないというふうなことも聞きました。しかしその中で、例えば木の学校にするということで林野庁から、あるいは省エネなどを工夫するということで環境省から、そして学童に関しては厚労省、そしてあと避難所に使うんだということであって総務省からということで、いろいろな補助金がもらえるところを探す努力を非常に町側がしているということもわかりました。こういった努力は一方で、よりよい学校をつくるという要素にもなると思います。

そして素案も見せていただきましたが、地域に開かれ、地域の方々の学びの場としての学校というコンセプトも挙げられていました。これはいわば委員会報告書にありましたように、町民みんなの学校ということでありませう。これまでも体育館の使用など、一部のスポーツ団体

は使っておりましたが、今度新しくなるころの案ではコミュニティルームであるとか、図書館やパソコンが使えるメディアセンターであるとか、地域の方がそこで学ぶ場として使えるというような案も入っておりました。

また、体育館に関しても、もちろん避難所としても使える以上に、これまでのスポーツの使用以外にも、例えばこの町では大ホールはあっても中ホールがない、使いやすいスペースが余らないということで、こういった文化的なイベントに使えるというような可能性も出てくると思います。そういったことを考えると、本当に子供、もちろん子供優先の子供のための学校ではありますが、町民みんなの学校だというようなことを非常に感銘を受けました。またそのためにも、みんなのトイレが、各フロア、それから体育館、その5つ、今のところ案が入っておりまして、こういったものも、例えば高齢者の方、障害者の方も安心して使えるということがわかりました。

町民負担は確かに多少あると思います。しかしその中でも松田の学校は、うちの学校は、というふうに自慢できる、そういう学校をつくるんだという意識が持てるように、町側も常に町民に向けて発信していただくというようなことも、私たち条件としてつけさせていただきました。この避けて通れない建て替えであるなら、町の財政の削れるところは削ってでも、魅力のある学校をつくらない若くは人は集まらないというふうには町長もおっしゃっておりました。この魅力のある学校、これがやはり教育の町松田というものをより盛り上げるために欠かせない要素であることは言うまでもありません。そしてこの未来へつなぐ存在である子供たちにとっての学校、そしてまた先ほど申し上げましたように、地域みんなが使えるような学校、そういったものを町のシンボルになるような形でぜひつくってほしいと思っております。附帯条件として委員会が挙げた項目に留意をしながら、ぜひ進めていただきたいと思います。